

# 2017年度 第29回 全国グループホーム等研修会

## 北陸地区大会 in 福井 開催要綱

大会テーマ「これからグループホームに求められるもの」  
～施行後3年後の見直しにおける地域支援体制～

障がいのある方が地域で安心して暮らすための主たる住まいの場として、グループホームの利用者数が毎年着実に増加しています。平成27年10月には約10万人となり、約13万人いる施設入所者数を超える日もそう遠くないものと思われまます。

利用される方の障がい種別も、身体・知的・精神のみならず、背景にある虐待、触法、社会的養護強度行動障害などニーズが多種多様化しています。総じて重度高齢化への対応が喫緊の課題として挙がっており、私たちの支援の専門性向上や地域で支えていくための連携体制が、より求められている現状です。

こうした現場の状況に呼応して、制度も次々と見直しが進められる中で、障害者総合支援法施行3年後の見直しが社会保障審議会障害者部会報告書としてまとめられ、平成28年5月に成立した改正障害者総合支援法においても、新たな施策が示されています。「地域生活支援拠点」や「意思決定支援」のあり方、改正障害者総合支援法に新たに設けられる「自立生活援助」など、今後も議論が必要な一方で、来たる平成30年度には医療・介護・障がい分野の同時報酬改定が行われます。

まさに激動の時代の中、地域で利用者が「自分らしく」生活することを可能にするグループホームのあり方とそれらを取り巻く諸課題、そのために私たち職員が果たすべき使命等について、全国のグループホーム関係者や知的障がい福祉関係者が一堂に会し、研鑽と交流の中で新たな一歩を見出すことを目的として、本研修会を開催いたします。

主 催	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 北陸地区知的障害者福祉協会			福井県知的障害者福祉協会
後援（予定）	福井県 福井県手をつなぐ育成会	福井市	福井県社会福祉協議会 福井県知的障害児者生活サポート協会	

### 1. 開催日時・会場・定員

- (1) 開催日時 平成29年8月21日（月） 13:30～20:30（交流会含む）  
平成29年8月22日（火） 9:00～11:45
- (2) 開催会場 フェニックス・プラザ  
〒910-0018 福井県福井市田原1丁目13番6号
- (3) 交流会会場 ザ・グランユアーズフクイ 3階 天山の間  
〒910-0005 福井県福井市大手3-12-20
- (4) 分科会会場 ①ザ・グランユアーズフクイ 3階 天山の間  
〒910-0005 福井県福井市大手3-12-20  
②福井県民ホール（アオッサ）8階ホール  
〒910-0858 福井県福井市手寄1-4-1  
③福井市にぎわい交流広場（ハピリン）4階 多目的ホール  
〒910-0006 福井県福井市中央1-2-1  
④ユアーズホテルフクイ  
〒910-0006 福井県福井市中央1-4-8

※各分科会の部屋割りはお申込後にお知らせします。

(5) 参加者定員

- ・ 800名 (申込先着順)
- ・ 参加者：グループホーム等関係者、知的障害福祉関係事業所長及び職員  
世話人、相談支援事業所スタッフ、管理者、サービス管理責任者  
行政、関係機関、教育機関並びに知的障害者福祉と地域支援等に関心のある方。

2. 参加費用

- ・ 研修会参加費 12,000円
- ・ 交流会費 8,000円

3. 申込締切日

- ・ 平成29年7月10日(月)とさせていただきます。
- ・ 定員になり次第、締切とさせていただきますことでもありますので、参加希望の方はお早めにお申し込みをお願いします。

4. 日程及び内容

[ 8月21日(月) ]

12:00	13:00	13:30	14:30	14:50	15:50	16:10	17:00	18:30	20:30
受付	開会式	行政説明	休憩	基調講演	休憩	鼎談	移動	交流会	

[ 8月22日(火) ]

8:30	9:00	11:45
受付	分科会	

(閉会式はありません。自由解散となります。)

**第1日目 8月21日(月)**

\*全体会

●13:00~13:30 開会式

●13:30~14:30 行政説明

演題 「障害福祉施策の動向」(仮題)  
 講師 厚生労働省 社会・援護局 障害福祉課  
 地域生活支援推進室 室長補佐 小林 靖 氏

●14:50~15:50 基調講演

演題テーマ 「障害福祉政策の動向と知的障害者福祉の課題と展望  
 一障害者総合支援法改正等から見える障害福祉施設の今後一」(仮)  
 講師 立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 平野 方紹 氏  
 プロフィール 平野 方紹 (ヒラノ マサアキ)

立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授、コミュニティ福祉学研究科コミュニティ福祉学専攻博士課程前期課程教授、同後期課程教授、福祉事務所などでの福祉実践と、厚生労働省や県庁で福祉行政に二十余年取り組んできたことを糧に、現在は、福祉サービス供給体制論(福祉の行財政、人材育成と資格制度、サービス利用システム利用者負担など)と公的扶助が主である、地方自治体の福祉現場に焦点を当てて、貧困をはじめとする福祉問題への対応を模索する実践的なアプローチを軸とした研究や、地域主権改革による福祉システムの再編が進められている中、こうした改革によって社会福祉がどのようになるのかということについて日々研究している。

●16：10～17：00

鼎談 「グループホームで働くことは、夢があるよね！」

北海道：NIKORI いどむ 統括施設長 山崎 千恵美 氏

沖縄県：海邦福祉会 グループホーム海の邦 世話人 友利 初美 氏

福井県：かすみが丘学園 コミュニティかすみ

グループホームめぶきホーム 世話人 渡辺 洋子 氏

グループホームつばさホーム 世話人 渡辺 和歌子 氏

●18：30～20：30

交流会 ザ・グランユアーズ（天山の間） ホテルフジタ3階

## 第2日目 8月22日（火）

### \*分科会 <9：00～11：45>

障害者総合支援法の見直しから、新たな方向性が示され、1年が経過しました。大会のテーマにありますように、これからのグループホームに求められるものを中心に、今後の地域支援のあり方を各分野別の視点に立ち研究していただきます。

#### ●第1分科会●

##### ・テーマ 「グループホーム世話人さんの取り組みの現状と課題」

意思決定支援はとても大切な課題です。一人ひとりが自分らしく、ありのままの生活を地域で送り続けるためには、どのようなサービスの活用があり、世話人さんの工夫や取り組みが活かされているのかを事例を通して検証してみたいと思います。

*司会者	新潟県障害者居宅介護支援事業所	わもっか	管理者	広島 陽子 氏	(新潟県)
*助言者	NIKORI	いどむ	統括施設長	山崎 千恵美氏	(北海道)
*発表者1	鳥取厚生事業団	こもればいホーム		金光 啓介 氏	(鳥取県)
*発表者2	けやき福祉会	けやきホーム	世話人	桑田 大輔 氏	(愛知県)
*発表者3	アカシヤの里	アカシヤ寮	副主任	寺島 真吾 氏	(石川県)

#### ●第2分科会●

##### ・テーマ 「福祉・介護サービス活用のための相談支援事業所との関わり」

ライフステージごとに色々な課題があり、選択に迷うことがあります。相談支援事業所は障がいのある人たちをそれぞれの場面で支援しています。この分科会では、相談支援事業所、更には多種多様な関係機関と連携を取りながら支援している事例を通して、グループホームにおいてできる取り組みの可能性を考えていきます。

*司会者	新川会		理事	牧野 武 氏	
*助言者	足羽福祉会	あすわ地域生活支援センター	管理者	高村 昌裕 氏	(福井県)
*発表者1	札幌緑花会	地域支援センターゆう	管理者	石亀 善則 氏	(北海道)
*発表者2	秋田虹の会	虹のいえ	GHサービス管理責任者	越後 修平 氏	(秋田県)
*発表者3	柏涛会	グループホームあまべ荘	管理者	松原 のぞみ氏	(徳島県)

### ●第3分科会●

#### ・テーマ 「重度・高齢の利用者の暮らし向上を目指したグループホームを考える」

施設入所者の地域生活への移行（自宅やグループホーム等への地域生活移行者）は一つの山を超え、減少傾向にあります。現在グループホームで生活している方が、重度・高齢化や「親亡き後」を迎えた場合にグループホームに求められることは何か、また、より良い暮らしを目指してどのような取り組みができるのかを考えていきましょう。

*司会者	アカシヤの里	アカシヤ寮	施設長	水岡 弘行 氏	(石川県)
*助言者	愛光園	地域居住サポートセンター	センター長	渡部 等 氏	(愛知県)
*発表者1	札幌緑花会	生活介護・GH一体型事業所すまいる	副主任	西原 泰彦 氏	(北海道)
*発表者2	菊愛会	地域生活支援事業所あおぞら	サービス管理責任者	春田 隆 氏	(熊本県)
*発表者3	慶光会	グループハウスかわかみ	管理者	横浜 秀之 氏	(岡山県)

### ●第4分科会●

#### ・テーマ 「24時間体制で支援するグループホーム」～医療との連携や介護保険サービスの利用等～

多くのグループホームは、世話人や生活支援員の勤務形態に夜勤や宿直を組み入れて運営していますが、利用者の高齢化等により、医療との関わりが多くなることや、介護保険サービスへの移行や併用など様々の状況が発生してきています。このような中で、事業所はどのような選択を求められているのかを考えてみます。

*司会者	大日園	障害者支援施設大日園	課長	清水 定雄 氏	(福井県)
*助言者	在宅支援センター	へるぷねっと	管理者	最上 太一郎 氏	(熊本県)
*発表者1	とちのみ会		副施設長	横塚 直子 氏	(栃木県)
*発表者2	和歌山県福祉事業団	サポートセンターゆう	サービス管理責任者	岩上 拓史 氏	(和歌山県)
*発表者3	上越福祉会	かなやの里更生園	サービス管理責任者	滝沢 賢 氏	(新潟県)

### ●第5分科会●

#### ・テーマ 「就労している利用者を支援する取り組み」

グループホームに居住し、一般就労や就労支援事業所等へ働きに出かけている利用者さんを支えることは、支援者や世話人にとってとても大変なことです。そこで、参考となる先駆的な取り組みや、またそれとは全く反対に苦戦している事例などを通して、就労定着に繋げる道と一緒に模索していきましょう。

*司会者	竹伸会	総合福祉施設ライフカレッジあけぼの	管理者	山崎 耕平 氏	(福井県)
*助言者	もえぎの会	もえぎの里	管理者	石本 伸也 氏	(香川県)
*発表者1	青葉仁会		地域支援部長	高原 和美 氏	(奈良県)
*発表者2	白石陽光園	地域生活援助センター「ポレポレ」	副所長	高橋 薫 氏	(宮城県)
*発表者3	新友会	グループホームひまわり辻	サービス管理責任者	宮園 康司 氏	(大分県)